

〔資料提供〕

月 日	担当課（室・館等）	電話	担当者
令和7年12月9日(火)	県立博物館	088-668-3636	鈴木佑弥 (自然担当・主任学芸員)

あわし みましわきまち
阿波市・美馬市脇町から新種のクモを発見
「バンドウヤミサラグモ」として記載

1 概 要

この度、徳島県阿波市および美馬市脇町から新種のクモを発見し、学名を *Arcuphantes bandoi* (アルクファンテス・バンドウイ)、和名をバンドウヤミサラグモとして記載しました(図)。この名前は、県内で 50 年にわたりクモの調査を続けている阿波市在住のクモ研究家 坂東治男氏にちなんでいます。論文は、日本動物分類学会誌「Species Diversity (スピーシーズ・ダイバーシティ)」に、令和7年10月30日付で公開されました。また、本発見に関連し、徳島県立博物館2階常設展示室「徳島の自然とくらし」ホワイトボードコーナーにて、令和7年12月16日(火)から展示を行うとともに、令和7年12月28日(日)には展示解説を実施します。

2 背 景

ヤミサラグモ類（サラグモ科）は体長 2~3 mm ほどの小さなクモで、主に山地の薄暗く湿った場所に生息します。徳島県ではトクシマヤミサラグモ、アワヤミサラグモ、アキヤミサラグモの 3 種が知られ、これらのうちアキヤミサラグモは、県内を東西に流れる吉野川の北側に広く分布することが分かっていました。

当館の鈴木学芸員は、阿波市在住のクモ研究家 坂東治男氏とともに阿波市でクモの調査を行っていた際、アキヤミサラグモの分布域と思われていた地域で、既知種とは形態が全く異なるヤミサラグモを発見しました。そこで、阿波市を中心に県内約 100 地点で調査を行ったところ、このクモは阿波市・美馬市脇町のわずか $6 \times 8 \text{ km}$ の範囲にのみ生息していることがわかりました。そして、形態や遺伝子を詳しく調べ、既知種との比較を行った結果、まだ名前がついていない種（未記載種）であると判断し、新種「バンドウヤミサラグモ」として記載しました。この発見は、地域の生物多様性を明らかにするうえで、綿密なフィールド調査を行うことがいかに重要であるかを示しています。



図 バンドウヤミサラグモ雌

3 書誌情報 Yuya Suzuki (2025) A Remarkable New Species of *Arcuphantes* (Araneae: Linyphiidae):

Micronetinae) from Northeastern Shikoku, Japan, with Observations on Mating Behavior and Preliminary Molecular Analysis. Species Diversity, 30: 1–16. (四国北東部におけるヤミサラグモ属(クモ目: サラグモ科: コノハサラグモ亜科)の顕著な一新種、およびその交接行動の観察と予備的な分子系統解析) Doi: 10.12782/specdiv.30.225

4 展示

主催 徳島県立博物館

会期 令和7年12月16日(火)～ 終了日未定

内容 パネルおよび標本展示(標本展示は令和7年12月16日(火)～令和8年2月1日(日))

休館日 毎週月曜日、ただし祝日・振替休日は開館、翌火曜日は休館。12/29～1/4は休館。

開館時間 9時30分から17時00分まで

会場 徳島県立博物館2階常設展示室内「徳島の自然とくらし」ホワイトボードコーナー

観覧料

通常の常設展観覧料

一般400円、高校・大学生200円、小・中学生100円

祝日、「関西文化の日」期間は無料、土曜日・日曜日は高校生以下無料

学校教育による利用は無料

身体障害者手帳・療養手帳・精神障害者保健福祉手帳所有者とその介助者1名は無料

65歳以上は無料

20名以上の団体は2割引

5 展示解説

日時 令和7年12月28日(日) 13:30～15:00

場所 徳島県立博物館2階常設展示室内「徳島の自然とくらし」ホワイトボードコーナー

参加 参加費無料(ただし、通常の常設展観覧料が必要)、申し込み不要